

探究的な学びにおける「自分の言葉で語る」思考のプロセスの研究

－「直接体験」と「表現活動」で学びを繋ぐ－

教育実践高度化専攻 教科指導重点コース 小学校教育指導系

中垣内 喬大

本研究では、探究的な学びの中で「自分の言葉で語る」表現へと繋ぐ思考のプロセスについて明らかにすることを目的とした。「直接体験」と「表現活動」に着目し、他者と関わり自分自身と向き合いながら、その思いや願いを高めることを意識した手立てを講じ、小学校5、6年生を対象に総合的な学習の時間の実践を行った。

授業実践を通して、「直接体験」によって対象に対する興味・関心が高まったことや、他者と関わった経験を通して更なる探究学習に取り組もうとする姿が見られた。また、「表現活動」では、グループでの学習で児童同士が関わる場面を多く設定したり、数値を用いて学びを振り返ったりすることで児童の思考を繋げ、さらに高められることが明らかとなった。

また、学びを伝える人などに、相手意識を持つことで思考のプロセスをより活性化させていき、「自分の言葉で語る」表現へと高まっていくことが示唆された。

今後は学級担任として、「自分の言葉で語る」思考のプロセスを様々な教科にも生かし、児童の探究的な学びが様々な場所に繋がっていけるようにしていきたい。